

株式会社テクノスマート

2023年3月期 第2四半期決算説明資料

2022年9月30日時点

証券コード：6246

東京証券取引所 スタANDARD市場

<https://www.technosmart.co.jp/>

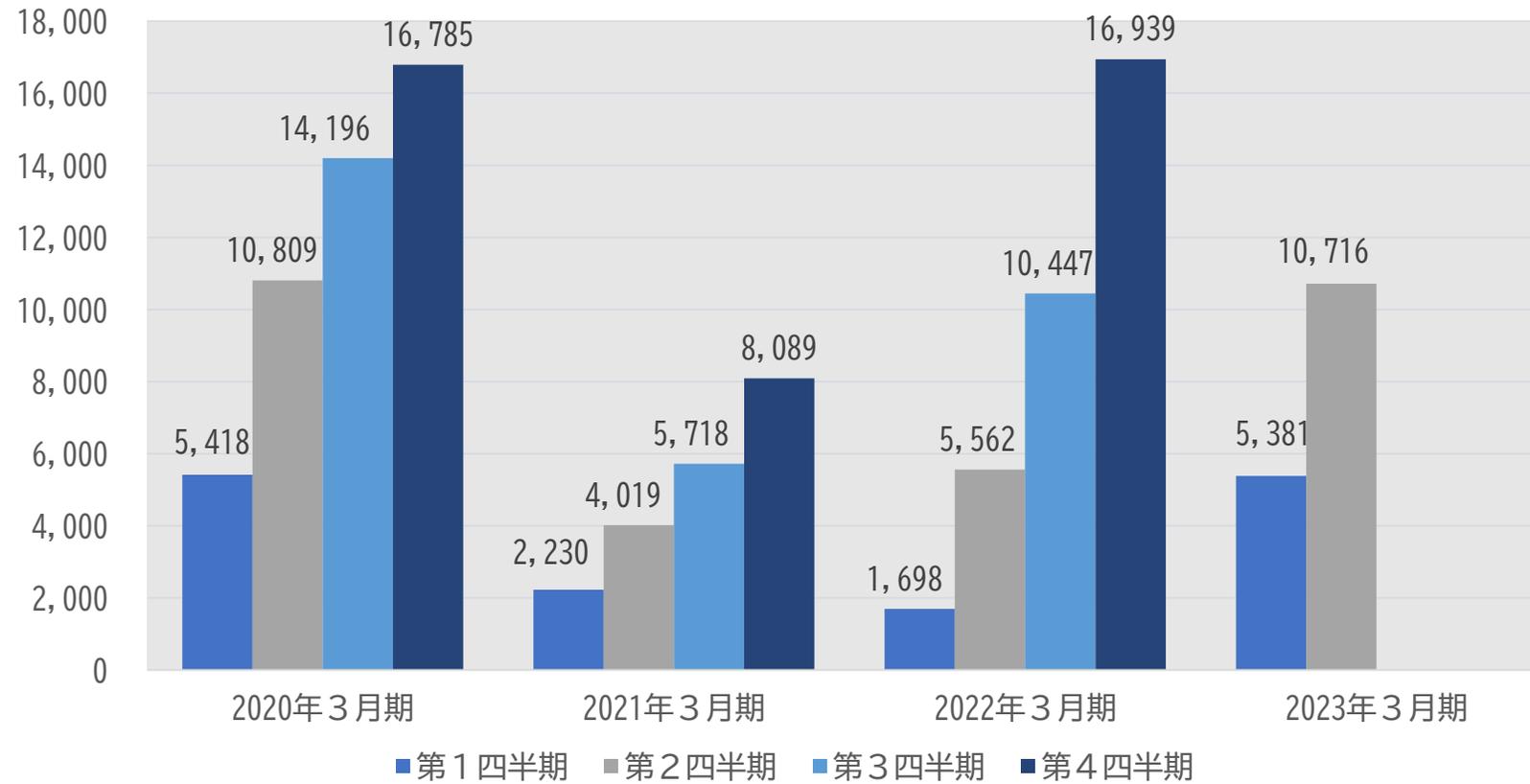
2023年3月期 第2四半期決算 概要

(注) 2021年3月期は「収益認識に関する会計基準」を遡及適用した金額に修正して記載しております。

単位：百万円

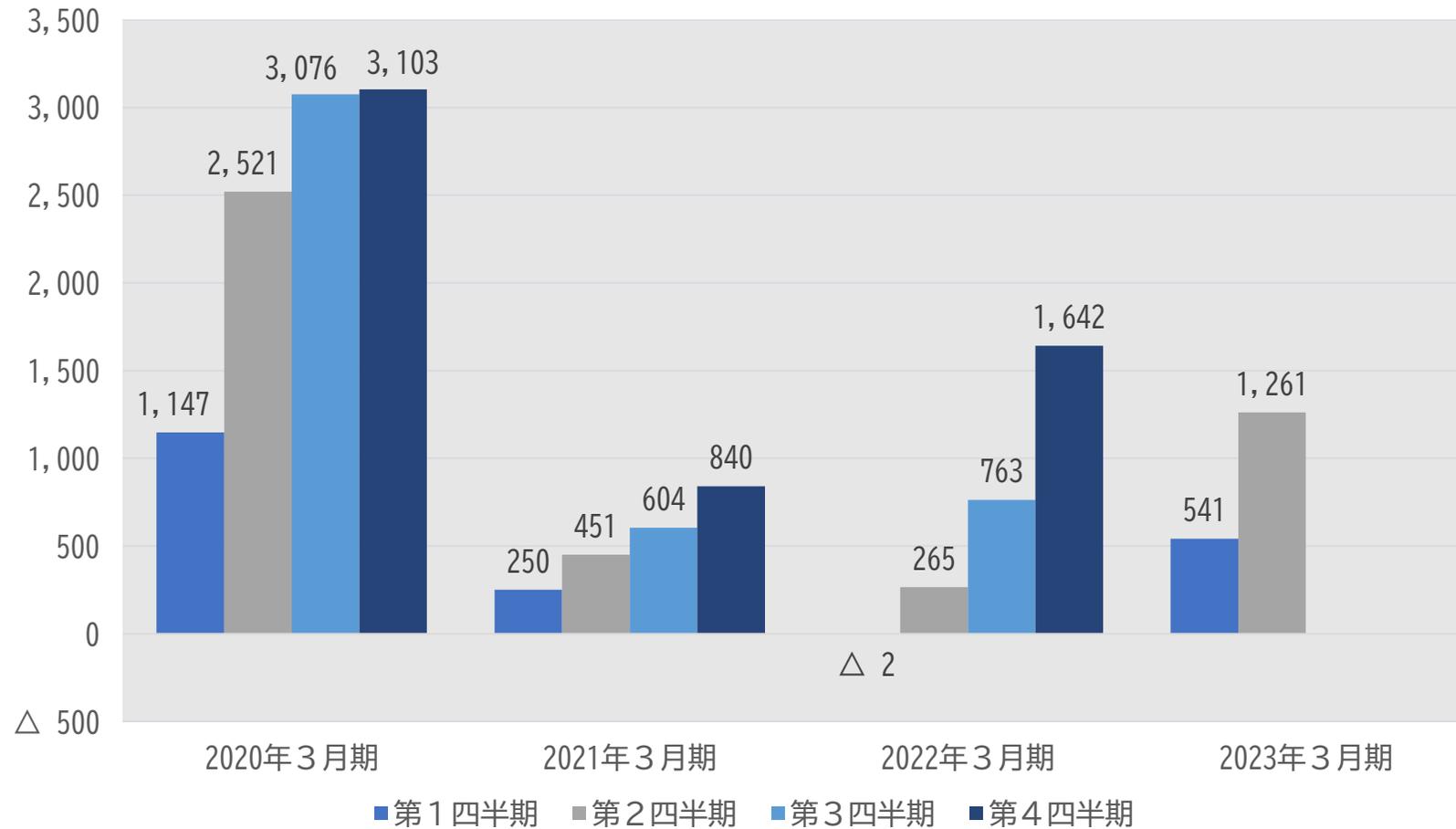
	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		
	金額	売上高に対する比率	金額	売上高に対する比率	増減率
売上高	5,562	100.0%	10,716	100.0%	92.6%
売上総利益	675	12.1%	1,675	15.6%	148.1%
販管費	410	7.3%	413	3.8%	0.7%
営業利益	265	4.7%	1,261	11.7%	375.8%
経常利益	297	5.3%	1,284	11.9%	332.3%
四半期純利益	197	3.5%	877	8.1%	345.1%

単位：百万円



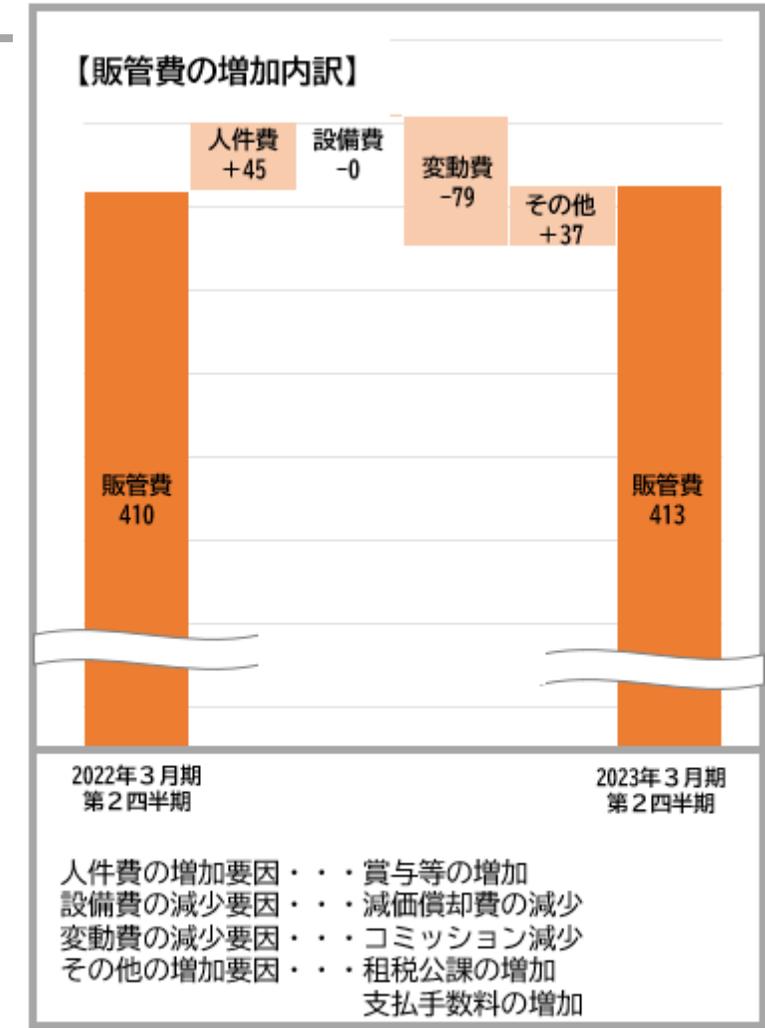
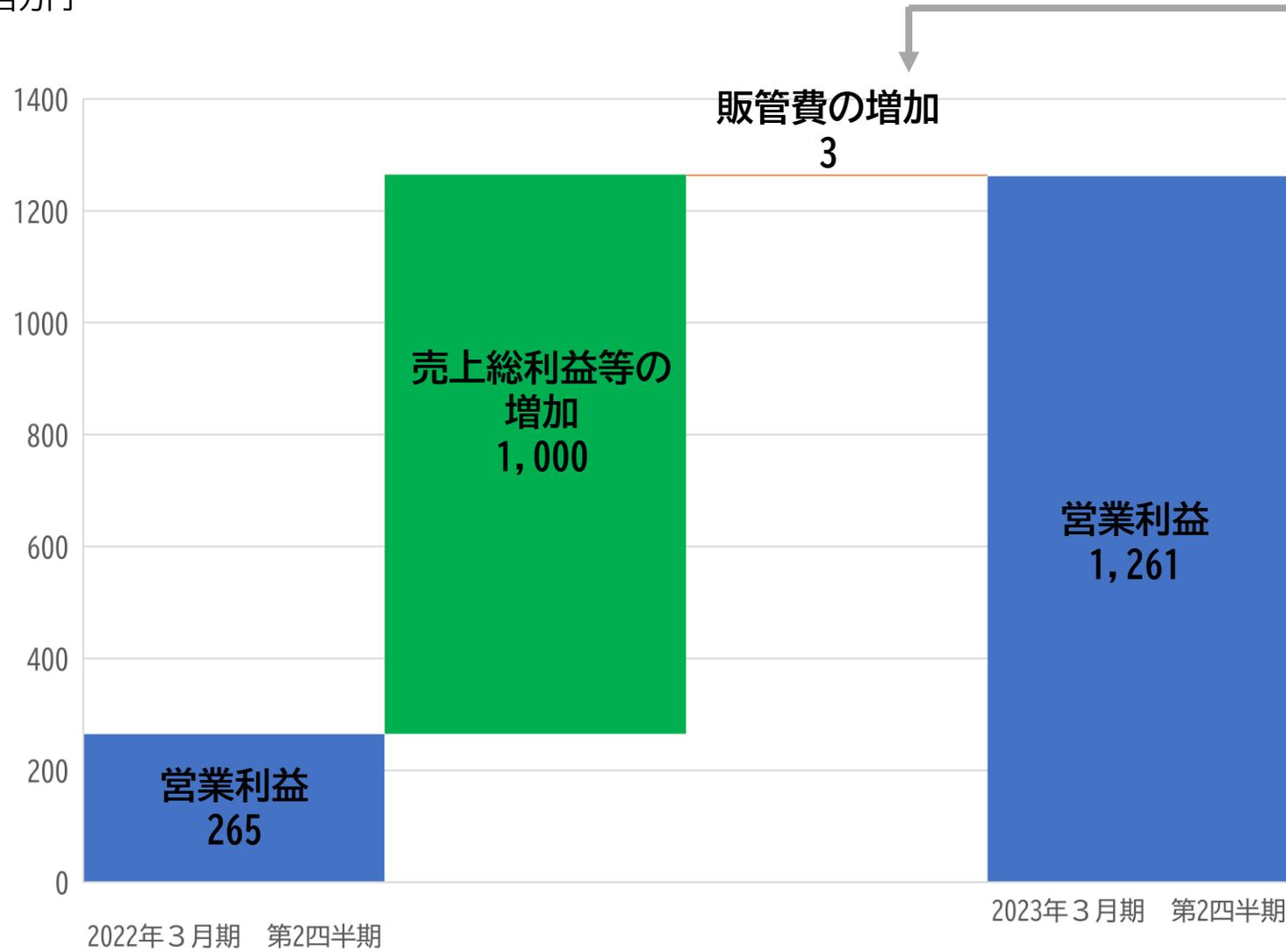
②営業利益の推移

単位：百万円



③営業利益分析

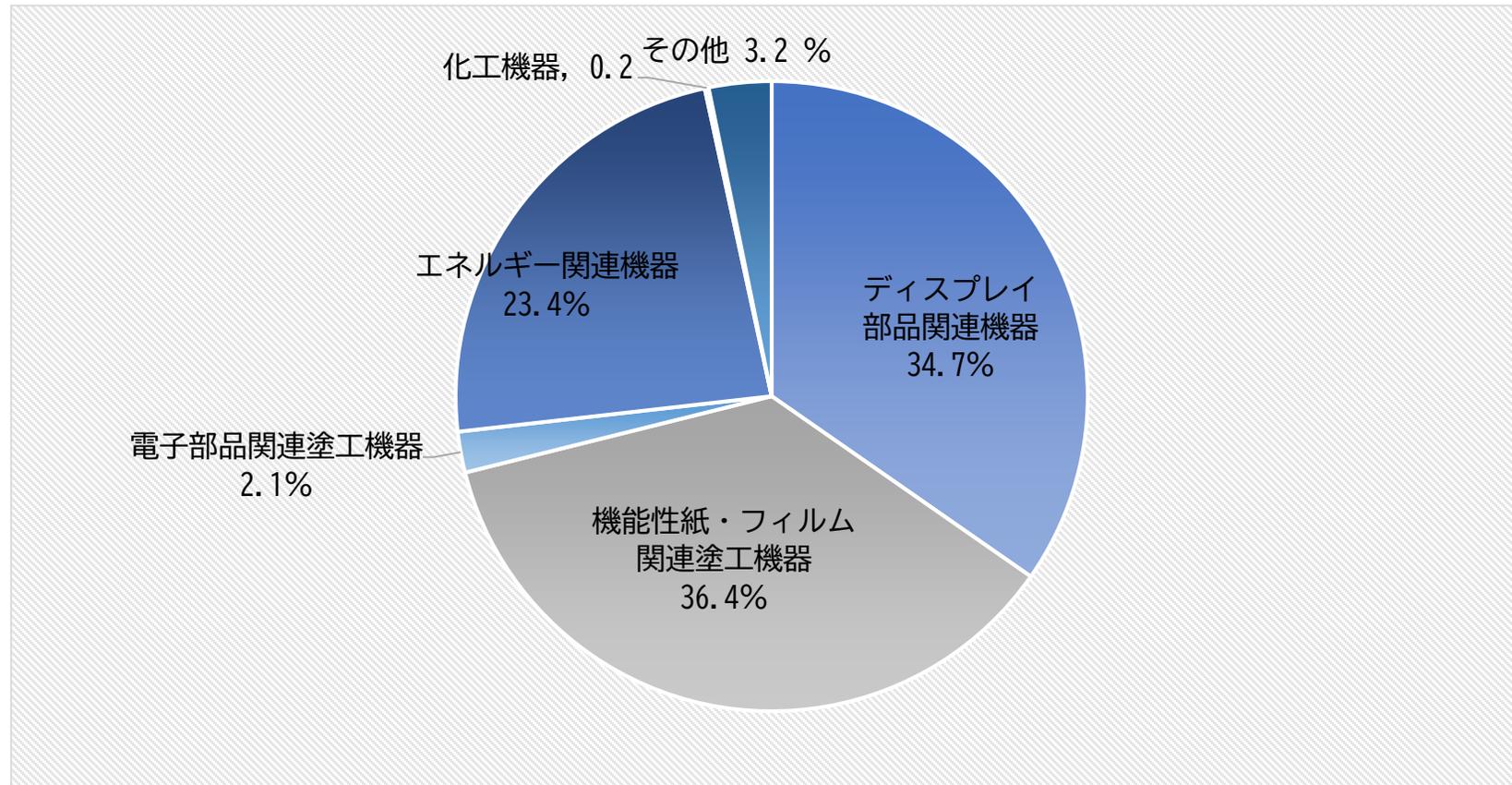
単位：百万円



④製品別売上高

単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期			[ご参考] 用途
	売上高	売上高 構成比	売上高	売上高 構成比	増減率 (%)	
①ディスプレイ部品 関連機器	818	14.7	3,714	34.7	354.0	フィルム製膜装置（ディスプレイ用偏光板）
②機能性紙・ フィルム関連塗工機器	1,992	35.8	3,902	36.4	95.8	濃ビPOフィルム乾燥装置、一般産業資材及び医療関係の紙・ フィルム用塗工・乾燥・熱処理装置および関連機器、 ディスプレイ半導体用工程フィルム基材
③電子部品関連塗工機器	1,206	21.7	220	2.1	△81.7	フィルム製膜装置（FCC L用PI）
④エネルギー関連機器	1,153	20.7	2,506	23.4	117.3	電池用電極、セパレータ、外装用アルミ箔処理装置
⑤化工機器	6	0.1	22	0.2	266.6	高機能性繊維、不織布関連の製造・乾燥・熱処理装置
⑥その他	384	7.0	350	3.2	△8.8	
合計	5,562	100.0	10,716	100.0		



2. 貸借対照表

単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期	
	期末	第2四半期	
	金額	金額	増減額
流動資産	23,205	24,705	+1,500
現金及び預金	10,639	13,663	+3,024
売上債権	11,078	9,893	△1,185
棚卸資産	552	548	△4
未収消費税等	550	-	-
その他	393	607	+214
貸倒引当金	△7	△7	0
固定資産	6,112	6,035	△77
有形固定資産	4,509	4,421	△88
無形固定資産	12	46	+34
投資その他の資産	1,592	1,568	△24
資産合計	29,316	30,741	+1,425
負債の部	11,911	12,795	+884
流動負債	10,564	11,413	+849
仕入債務	8,060	7,673	△387
前受金	1,597	2,913	+1,316
その他	906	826	△80
固定負債	1,347	1,382	+35
純資産の部	17,406	17,945	+539
株主資本	15,880	16,449	+569
評価・換算差額等	1,526	1,496	△30
負債・純資産合計	29,316	30,741	+1,425
有利子負債	-	-	-
自己資本比率 (%)	59.4	58.4	△1.0

【主な動き】

- 資産・・・14億25百万円の増加
 - ・ 受取手形、売掛金、契約資産・電子記録債権の減少 11億85百万円
 - ・ 有形固定資産の減少 88百万円
- 負債・・・8億84百万円の増加
 - ・ 買掛金及び電子記録債務の減少 3億87百万円
 - ・ 前受金の増加 13億16百万円
 - ・ 流動負債その他の減少 80百万円
- 純資産・・・5億39百万円の増加
 - ・ 利益剰余金の増加 5億69百万円
 - ・ その他有価証券評価差額金の減少 33百万円

単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	
	金額	金額	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△13	3,355	3,368
投資活動による キャッシュ・フロー	△392	△25	367
財務活動による キャッシュ・フロー	△176	△305	△129
現金及び現金同等物 の増減額	△582	3,024	3,606
現金及び現金同等物 の期首残高	10,361	10,538	177
現金及び現金同等物 の四半期末残高	9,778	13,563	3,785
(ご参考) フリー・キャッシュ・フロー	△396	3,344	

(注) フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 有形固定資産の取得による支出

【主な動き】

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ3,024百万円増加し13,563百万円となりました。

[営業活動によるC/F]

営業活動の結果得られた資金は3,355百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益と売上債権の増加及び仕入債務の減少によるものです。

[投資活動によるC/F]

投資活動の結果使用した資金は25百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

[財務活動によるC/F]

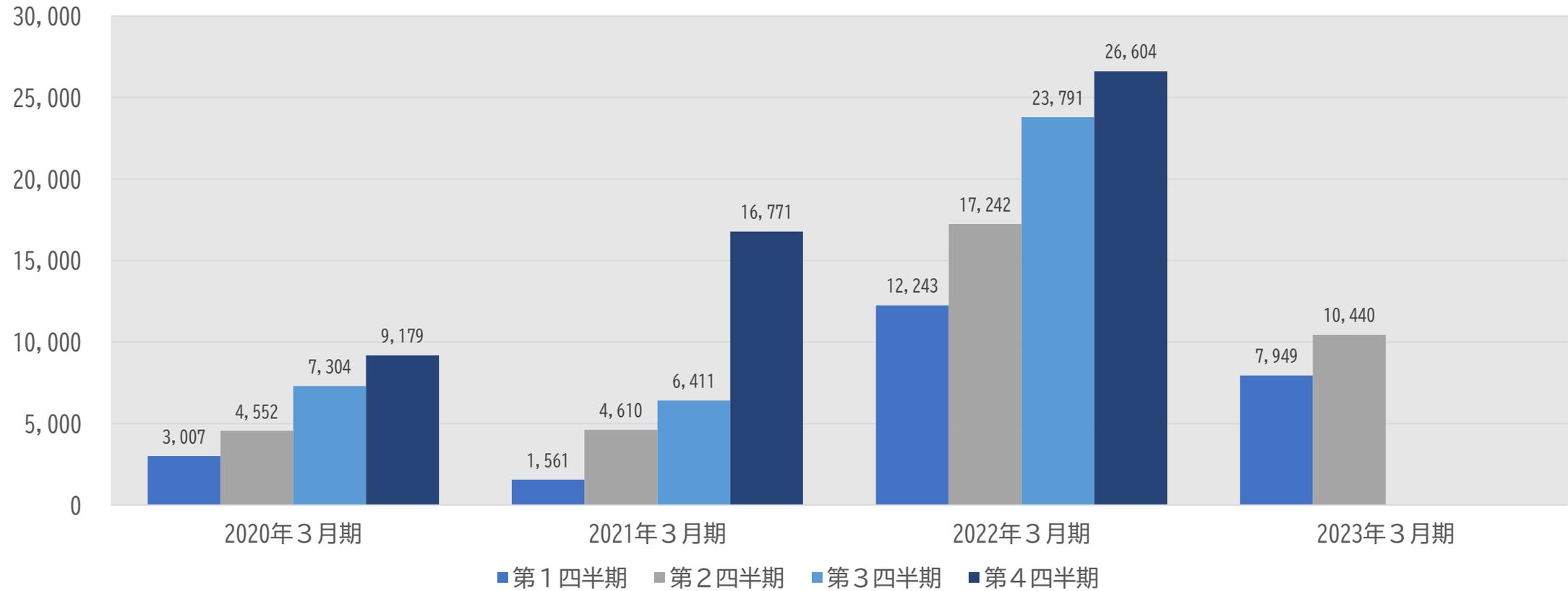
財務活動の結果使用した資金は305百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

2023年3月期 当社戦略と見通し

		2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期(予定)
1株当たり配当額 (うち1株当たり中間配当額)	(円)	30.00 (8.00)	40.00 (15.00)	50.00 (18.00)	18.00 (4.00)	35.00 (10.00)	39.00 (19.00)
1株当たり当期純利益	(円)	83.14	131.95	164.06	46.78	94.18	105.73

2022年度 業績予想 (単位：百万円)	2022年度 (計画)	2022年度 第2四半期	進捗率	
売上高	19,000	10,716	56.4	%
営業利益	1,840	1,261	68.5	%
経常利益	1,890	1,284	67.9	%
当期純利益	1,300	877	67.4	%

単位：百万円



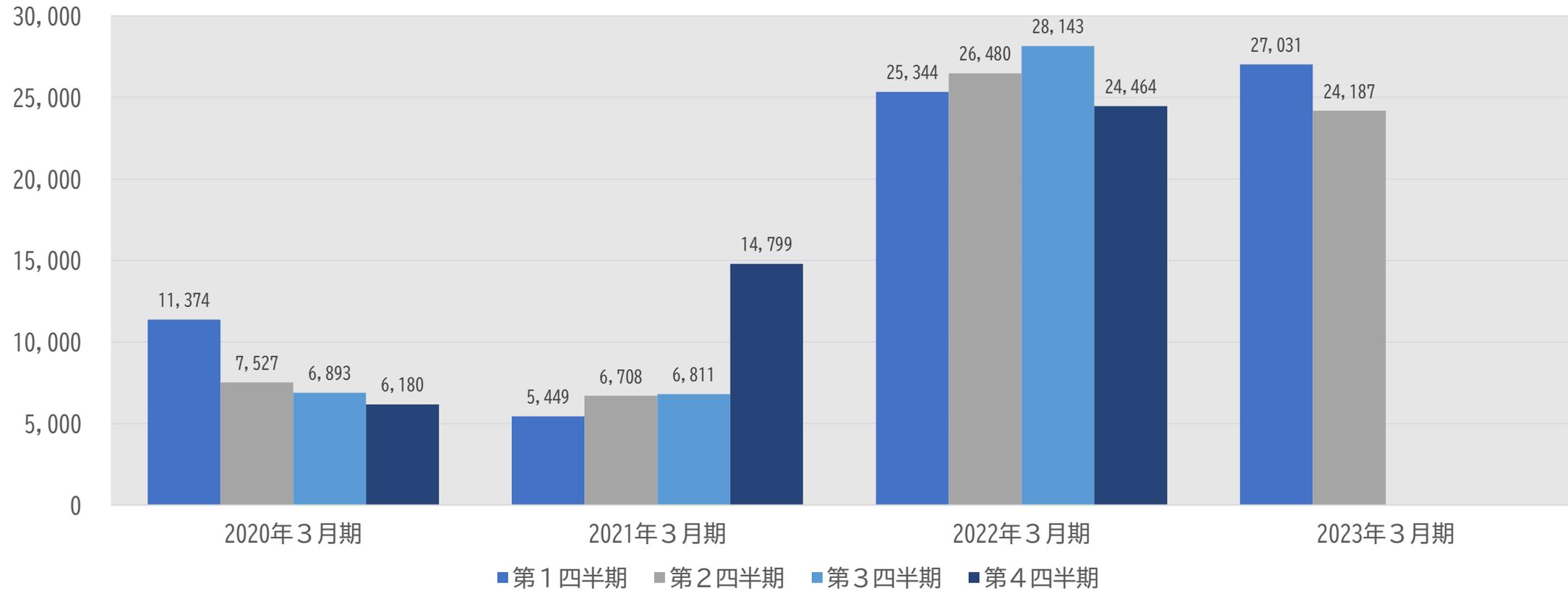
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による業界への影響と、業界の動きや対応

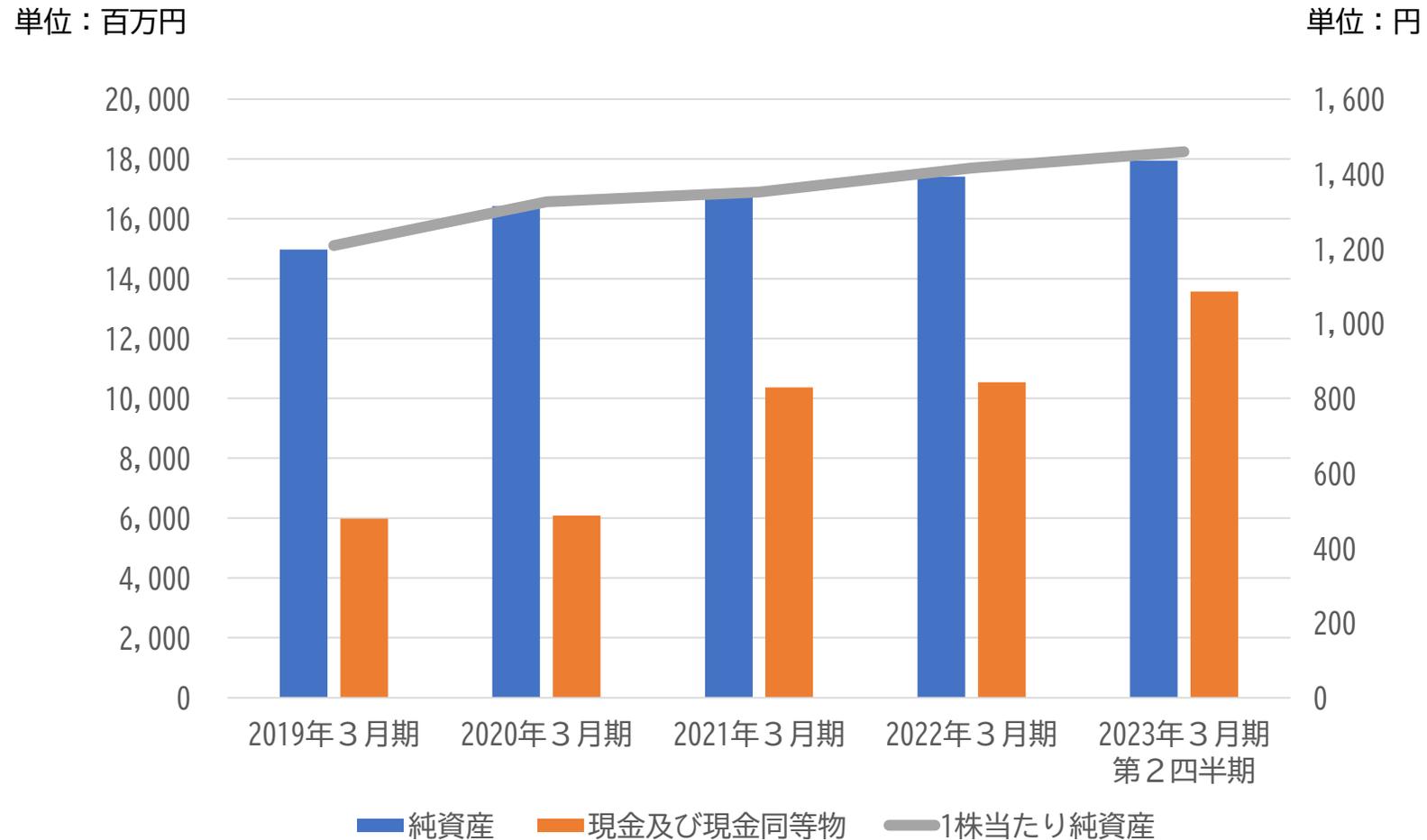
COVID-19による業界への影響	業界の動きや対応
<p>新型コロナウイルス感染症の新規感染者数に落ち着きが見られるものの、新たな変異株の発生もあり油断できない状況</p> <p>世界的な物流の停滞が発生し、半導体などを始めとする部材の調達に時間がかかり、サプライチェーン全体に影響を与えている状況</p> <p>海外からの入国者数の上限を撤廃したことで、今後はwithコロナとした経済の回復が加速されるものと期待</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、海外での据付や試運転を中断せざるを得ない時期がありましたが、客先のニーズに応えるべく現地で一定期間の隔離を受けることで、効率の悪さはあるものの概ね計画通りに進捗</p> <p>スマートフォン・タブレット端末・液晶テレビ、IT関連のウェアラブル情報端末、付属するタッチセンサーの光学系フィルム関連などの底堅い需要</p> <p>EV車、HEV車、PHEV車及びFC車などの二次電池用エネルギー関連業界の、グローバルな展開により更なる伸展に期待</p>

社会における当社の役割と、当社の「社会的責任」への取り組み

社会における当社の役割	当社の「社会的責任」への取り組み
<p>当社は、お客様やお取引先様との信頼関係を築いてきたことが自社の強みと認識し、今後もニーズを形にする技術で、新しい価値の創造に取り組み、存在価値を一層高めることにより、全てのステークホルダーの皆様により一層信頼され、社会に貢献できる企業を目指します。</p> <p>当社では、サステナビリティへの取り組みや人的資本の確保を、自社にとってのリスクであり機会でもあると認識するとともに、十分な開示を行っていくことは、投資家に対して広くESG投資を募るための有用な手段であると認識しております。</p>	<p>1960年代から、滋賀事業所における環境汚染物質の排出削減に取り組んでいます。 [期待される効果] 環境負荷の低減</p> <p>当社が製造、販売する設備から環境汚染につながる部品、材料を極力排除し、お客様の生産工程において排出される廃液類の流出事故が発生しない設計、製造を行っています。 [期待される効果] 環境負荷の低減</p> <p>塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮に取り組んでいます。 [期待される効果] 環境負荷の低減</p>

単位：百万円

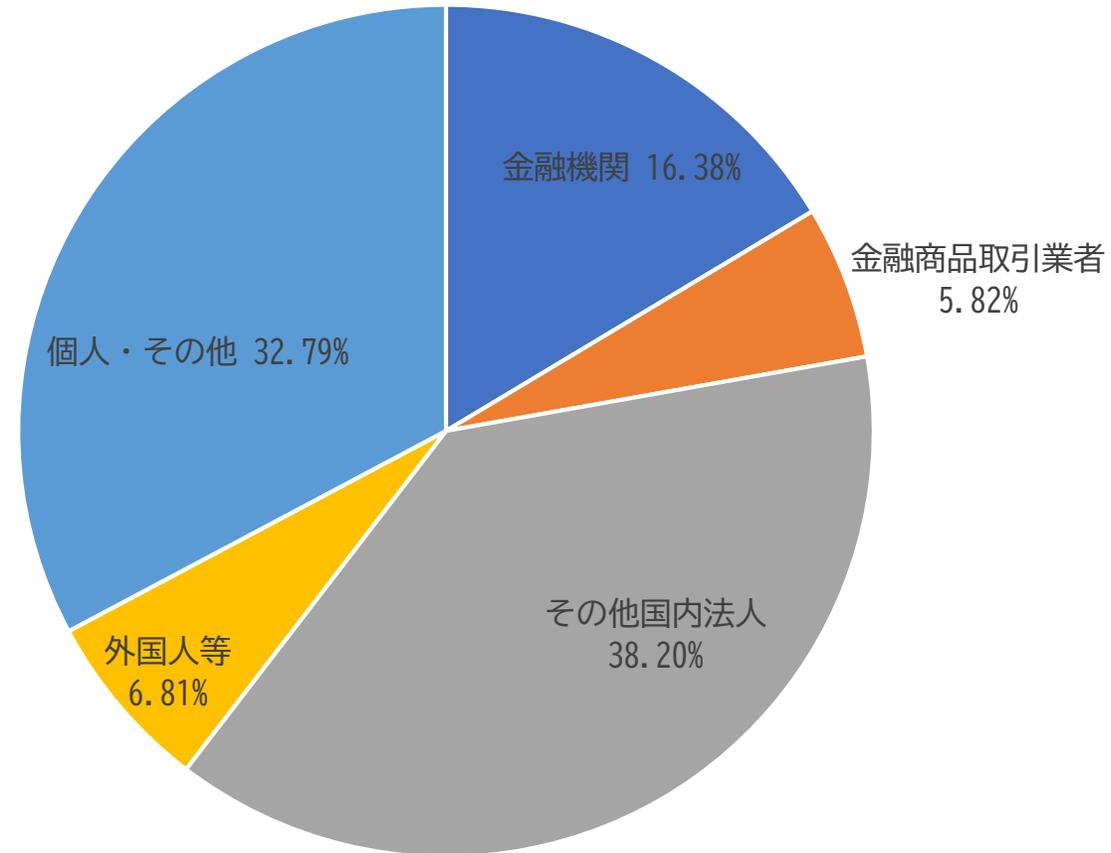




- 次世代新型二次電池などを顧客と共同研究開発
- AI、ビッグデータ、IoT対応、完全自動運転技術、省エネルギー対策及び節電・蓄電対策、地球温暖化対策、高速通信規格（5G）、サステナビリティ、DXなどに関連する分野への更なる進出
- 新型テストコーターの増設計画の推進及び海外へのグローバル展開を積極的にスピーディーに展開していく予定

株主還元について

所有者別株式分布



■ 配当の基本方針

当社の利益配分につきましては、すべてのステークホルダーの皆さまに 対し、「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、また企業体質の一層の強化と、今後の事業展開に備えるための内部留保の充実、自己株式の取得、安定的な配当及び各期の業績等を総合的に勘案し、株主の皆さまへ適正な利益還元を図ります。

なお、株主優待は実施しておりません。

■ 2023年3月期の予想と過去の実績

決算年月	実 績					予 想
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
1株当たり 当期純利益金額 (円)	83.14	131.95	164.06	46.78	94.18	105.73
1株当たり 配当額 (円)	30.00	40.00	50.00	18.00	35.00	39.00
配当性向 (%)	36.1	30.3	30.5	38.7	37.2	36.9

お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、
下記までお願い申し上げます。

管理統括部 企画・IR推進グループ
TEL 06-6253-7200（代表）

本資料には、当社の業績見通し等の将来に関する記述が含まれておりますが、これらは、本資料作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。